

新名神高速道路

新四日市JCT ◀▶ 亀山西JCT

一般国道475号

東海環状自動車道

大安IC ◀▶ 東員IC

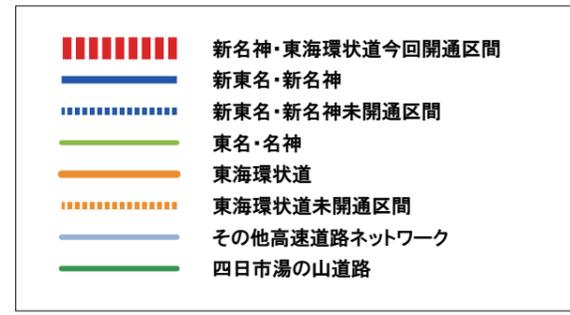
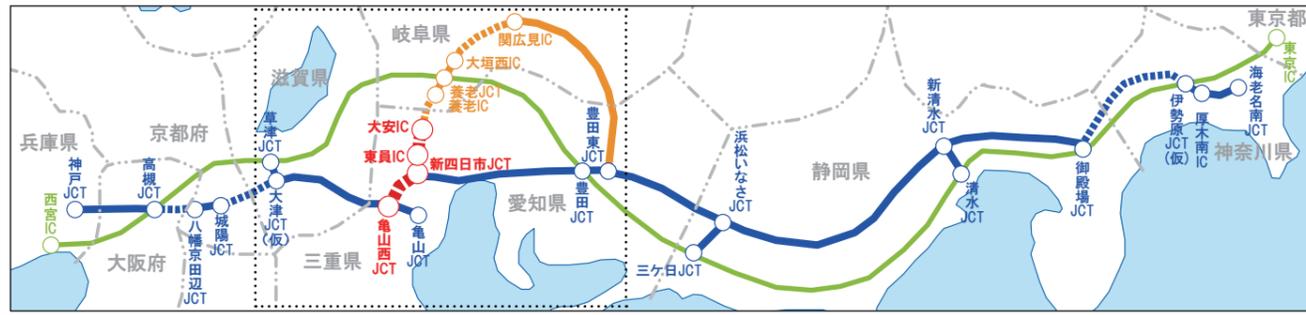
2019年3月17日開通



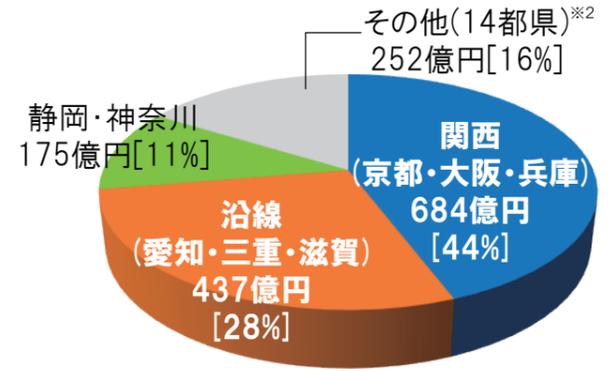
新名神・東環開通効果検討会議

つながるやん、みえの道！

～ものづくり中部を支える道路ネットワークがさらに広がります～



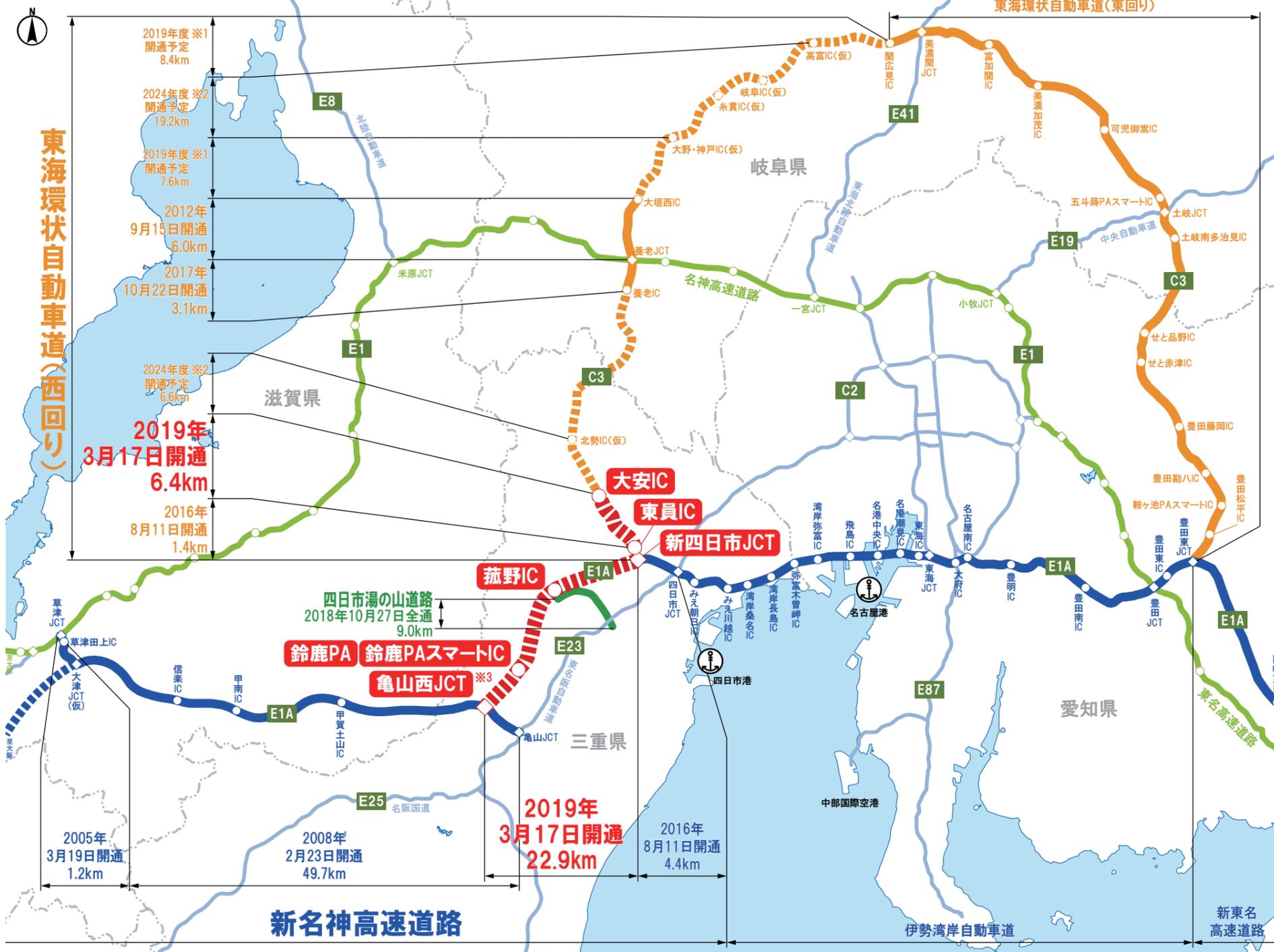
新名神高速道路等開通による地域別年間生産額の予測



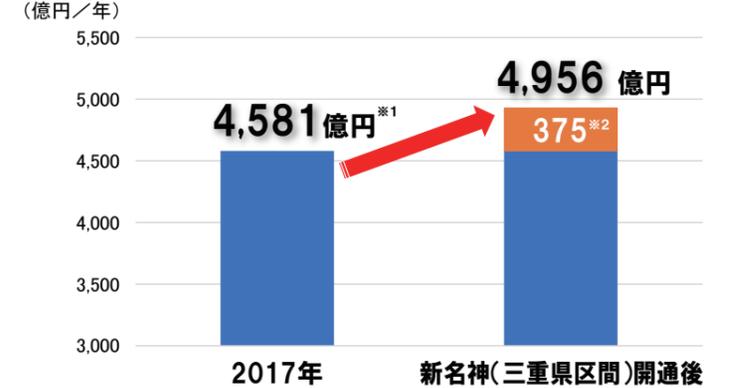
年間約1,550億円増加※1

※1 首都圏から関西までの1都2府19県の範囲において、年間約1,550億円の生産額増加が見込まれ、このインパクトが中長期にわたって継続的に発生する。
新名神等はものづくり地域である中部圏・近畿圏の生産性向上に繋がる道路として期待される。
※2 「その他(14都県)」は、茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・富山・石川・福井・山梨・長野・岐阜・奈良・和歌山

三菱UFJリサーチ&コンサルティング㈱「政策研究レポート」(2019年2月)より



三重県の観光消費額の予測

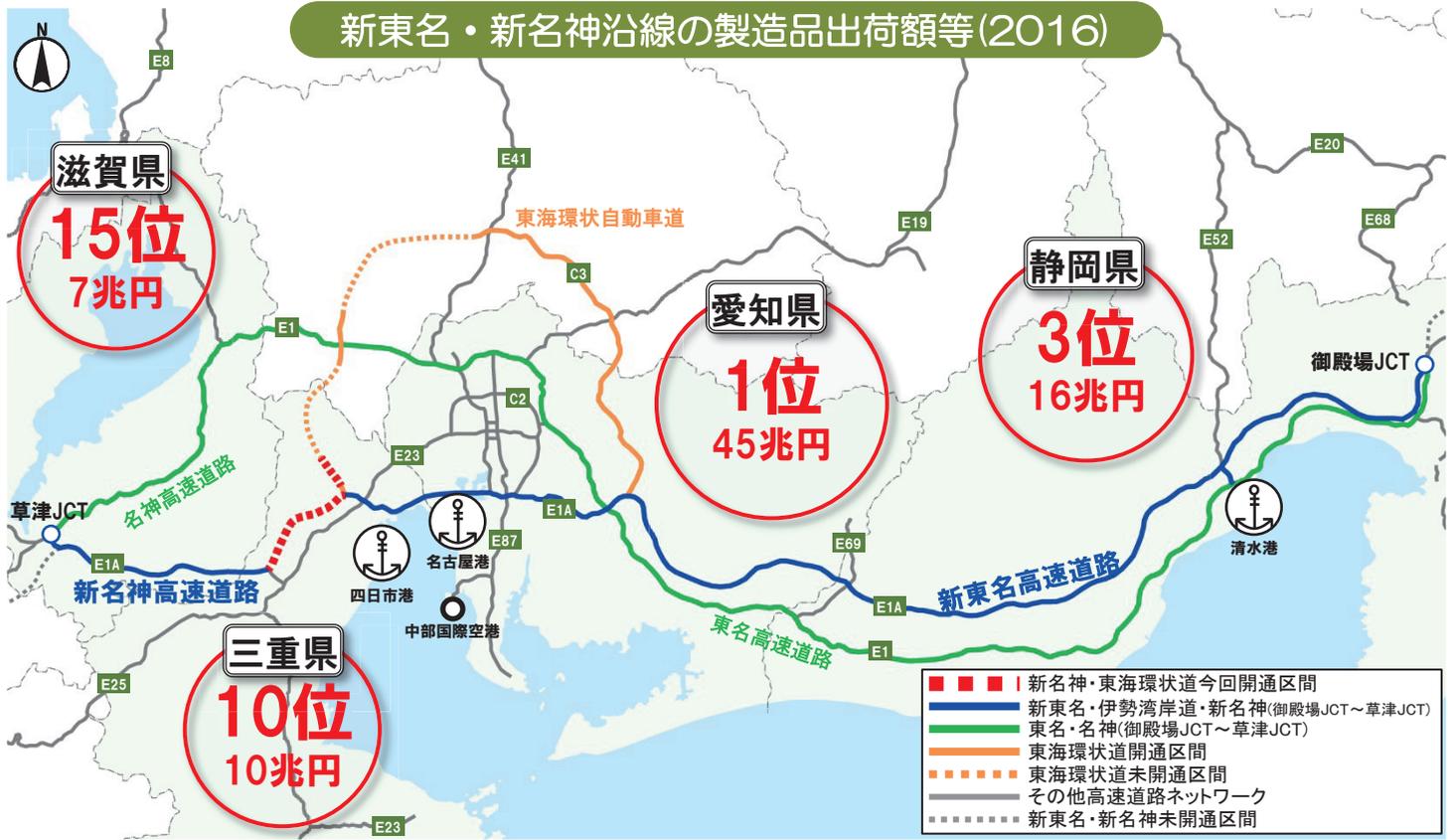


※1 観光庁「全国観光入込客統計のとりまとめ状況」(2017年、年間値)2017年値より
※2 車で出かけられる環境にある人口¹⁾×来訪回数の変化(増加回数)¹⁾×観光消費額単価¹⁾³⁾
1) 三重河川国道事務所実施Webアンケート結果より
2) 総務省「国勢調査」(2015年)人口より
3) 観光庁「全国観光入込客統計のとりまとめ状況」(2017年、年間値)2017年値より

開通区間の概要

| 路線名 | 新名神高速道路 | 一般国道475号 東海環状自動車道 | 一般国道477号 四日市湯の山道路 |
|------|------------------------|----------------------|----------------------|
| 起点 | 三重県四日市市 (新四日市JCT) | 三重県いなべ市 (大安IC) | 三重県四日市市 |
| 終点 | 三重県亀山市 (亀山西JCT) | 三重県員弁郡東員町 (東員IC) | 三重県三重郡菟野町 |
| 延長 | 22.9km | 6.4km | 9.0km |
| 道路区分 | 第1種第1級 (暫定第1種第2級) | 第1種第2級 | 第3種第1級 (暫定第3種第2級) |
| 設計速度 | 120km/h (暫定100km/h) | 100km/h | 80km/h (暫定60km/h) |
| 車線数 | 6車線 (暫定4車線) | 4車線 (暫定2車線) | 4車線 (暫定2車線) |
| 事業者 | 中日本高速道路(株) | 中日本高速道路(株) | 三重県 |

※1 予算状況等により開通時期が遅れることがあります。
※2 用地取得等が順調な場合。
※3 亀山西JCTで今回開通する区間と伊勢方面をつなぐランプウェイは、2019年度の完成を目指し、鋭意事業を進めています。



写真提供: 四日市港管理組合



写真提供: 名古屋港管理組合



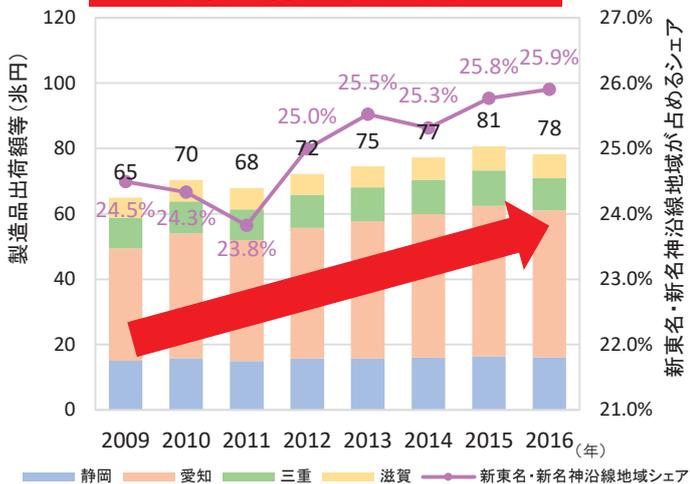
写真提供: 中部国際空港㈱



写真提供: 国土交通省清水港湾事務所

■ 製造品出荷額等の推移

新東名・新名神沿線の4県で
日本全体の約3割！



■ 民間設備投資額の推移

沿線4県の
民間設備投資額は好調



生産性
向上

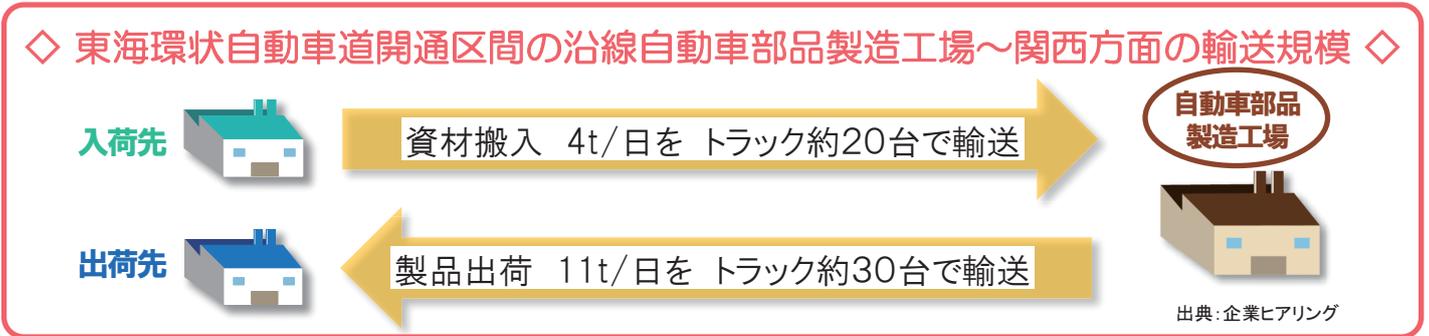
ジャスト・イン・タイムの物資輸送を支える！

製品納期の精度向上やリードタイムの短縮への期待

ネットワーク
効果



東名阪自動車道の渋滞緩和により円滑な輸送が実現



■ 滋賀方面出荷時の所要時間



※東名阪道経由所要時間：企業ヒアリングによる所要時間
 ※新名神経由所要時間：企業ヒアリングによる所要時間
 - H27道路交通センサス平日混雑時旅行速度による新四日市JCT
 ~ 亀山西JCT付近間の東名阪道・新名神の所要時間
 + 新四日市JCT～亀山西JCT付近間を100km/hで算定した所要時間

新名神高速道路開通区間
沿線企業の声

ジャストインタイム方式で1分1秒を惜しんで生産性の改善に取り組んでおり、定時性の確保のため高速道路を利用しています。

新名神の開通やこれに伴う東名阪道の渋滞緩和により、関西方面との物流において、納期精度の向上とリードタイムの短縮が期待できます。



四日市製油所(四日市コンビナート)

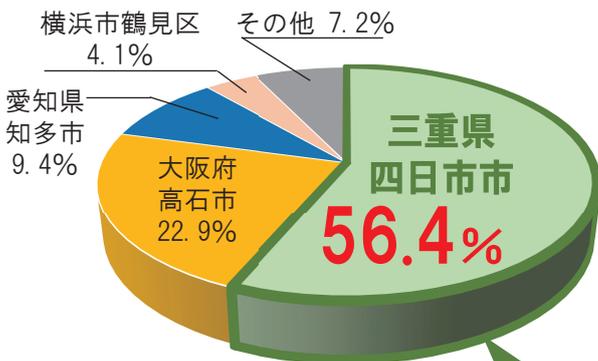
写真提供：四日市観光協会

四日市製油所 事業者の 声

当所で製造している石油製品は、中部圏に加え近畿圏の滋賀県にも多く供給しています。当所は24時間稼働で毎日の輸送により、多くの需要に対応していますが、近年はトラックドライバー不足や長時間労働の改善といった課題に直面しています。

新名神には東名阪道の渋滞解消による輸送の効率化に期待しています。また、東海環状道には新たな高速輸送ルート形成に期待しています。

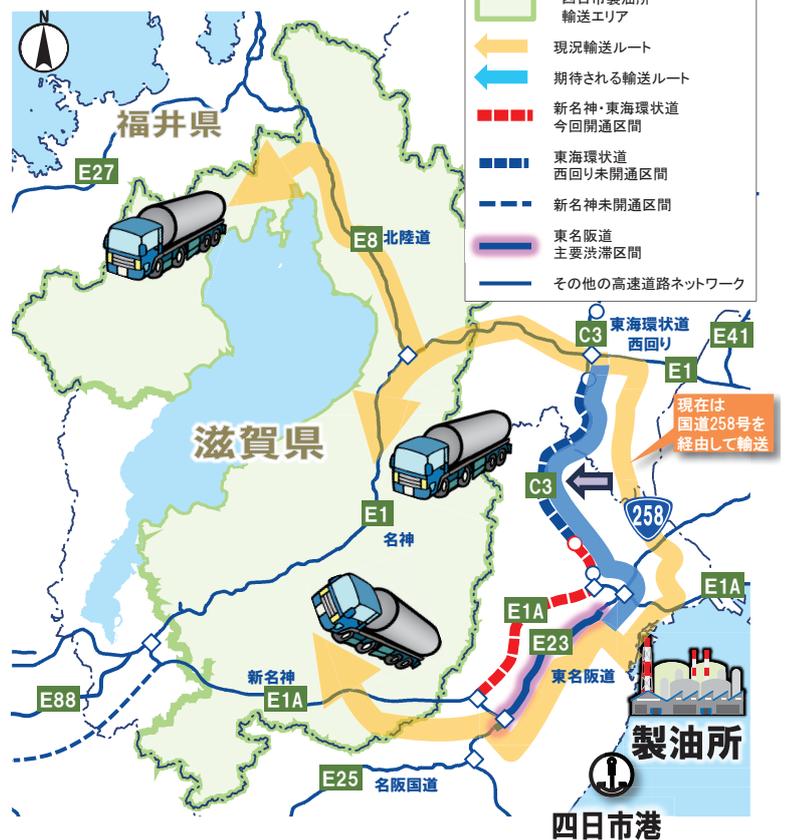
■ 滋賀県への揮発油等輸送量構成比



産業や日常生活を支える揮発油の5割以上が四日市市から輸送

出典：平成27年全国貨物純流動調査

■ 滋賀県の揮発油供給エリアと輸送ルート



※事業者ヒアリングを基に作成



亀山・関テクノヒルズ

【産業用地面積】103ha
【企業進出開始】2003年度

進出企業数の推移



亀山・関テクノヒルズに
進出した企業の声

新名神開通に伴い、東名阪道の渋滞が緩和されることから、円滑な輸送が期待できると考え立地しました。

菟野IC周辺地区土地区画整理事業

【概算面積】46.6ha(工業系16.9ha・住居系29.7ha)
【事業期間】2019年度から7年間(予定)



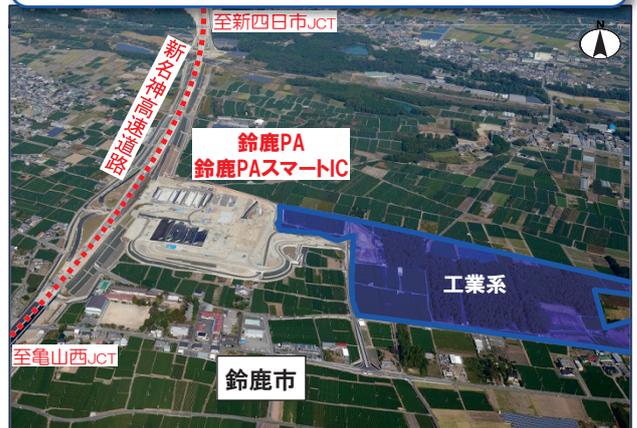
写真提供：NEXCO中日本

菟野町都市整備課の 声

新名神開通により、菟野IC周辺は土地の有効活用に対する地権者の機運も高まってきています。
土地区画整理事業で予定されている工業用地は、大型物流拠点も立地が可能な、大規模なものであり、ニーズは高いと思います。

鈴鹿PAスマートIC周辺土地区画整理事業

【概算面積】17.7ha(工業系)
【事業期間】2019年度から4年間(予定)



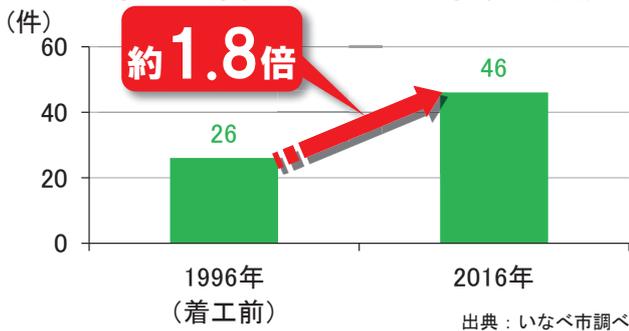
写真提供：NEXCO中日本

鈴鹿市産業政策課の 声

鈴鹿PAスマートIC周辺は、新名神と東名阪道のダブルネットワークの形成による輸送リスクの軽減や安定配送により企業立地が期待できます。
新名神の開通による期待が大きく、地域雇用の創出や地域活性化が期待できます。



■ いなべ市の工業団地の立地企業数の推移



■ いなべ市の地方税の推移



いなべ市進出企業の声

新工場の用地を全国で検討しましたが、当地は高速道路の近接性と間近に迫る開通予定が決定要因でした。燃料電池自動車の高圧水素タンク等を製造予定ですが、今後の需要増を見込んで製造棟の拡張用地も購入しています。

～クルーズ船の主なツアー先～

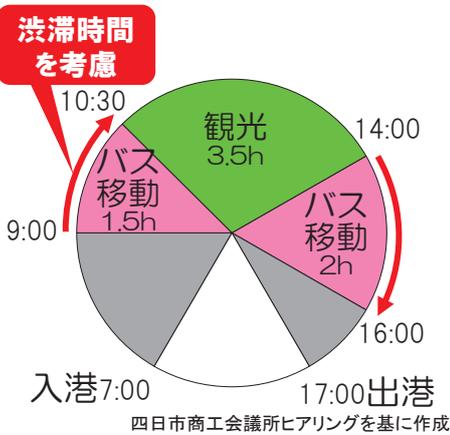


四日市商工会議所の声

四日市港に寄港するクルーズ船のツアー先は、東名阪道の渋滞を見込んで片道90分以内で設定しています。

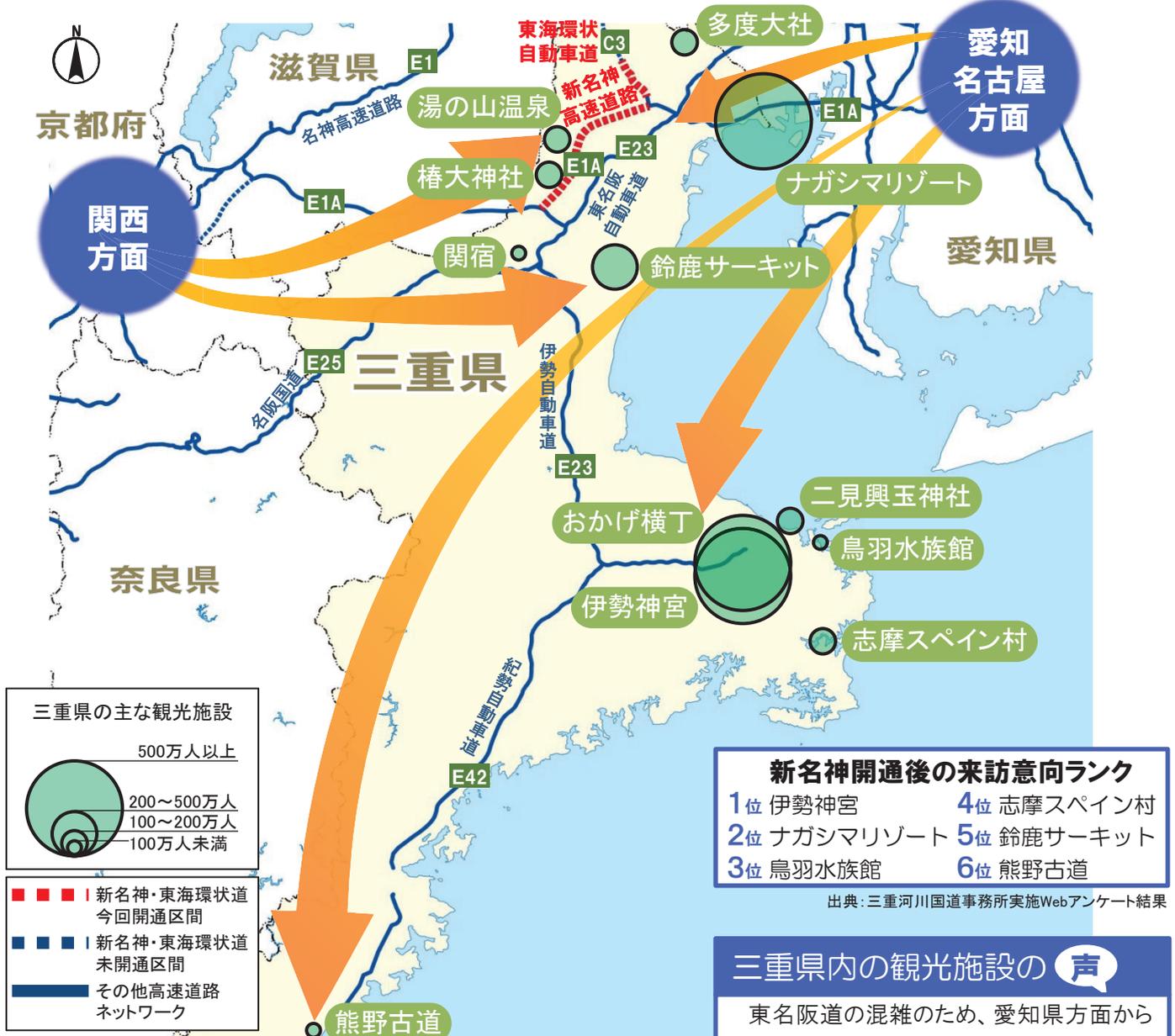
新名神が開通し東名阪道の渋滞が解消すれば、ツアー先の範囲拡大や、滞在時間を長くすることが可能となり、観光消費額の増加に寄与すると期待しています。

伊勢神宮ツアーの事例
(外国クルーズ船の場合)



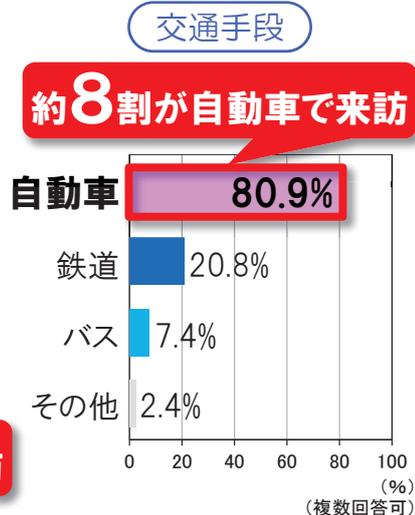
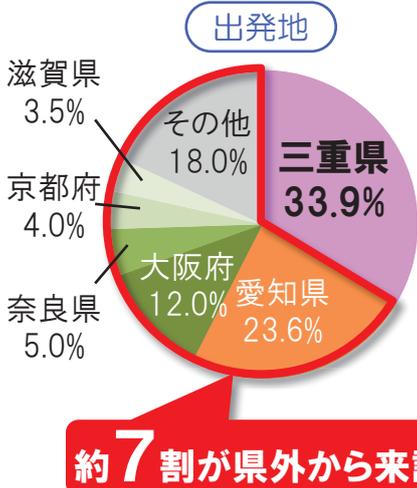
- ■ ■ ■ ■ 新名神・東海環状道今回開通区間
- ■ ■ ■ ■ 新名神・東海環状道未開通区間
- 其他高速道路ネットワーク
- 一般国道

- 現状のツアー先
(出典:ダイヤモンドプリンセス 寄港地観光ツアーのご案内)
- 高速道路ネットワーク形成により期待されるツアー先



■ 三重県来訪観光客の出発地・交通手段

(県内観光施設14地点で調査員による聞き取り調査 3,145人から回答)
出典：平成29年度三重県観光客実態調査報告書



三重県内の観光施設の **声**

東名阪道の混雑のため、愛知県方面から鈴鹿以南のゴルフ場に来ていただけません。新名神開通で、鈴鹿以南への集客にも期待しています。(三重県ゴルフ連盟)

関西方面からのアクセスが良くなることで、より遠方からの来訪者が増えるのではないかと期待しています。

また、関西空港に到着するインバウンド観光客の取り込みにも期待しています。(ナガシマリゾート)

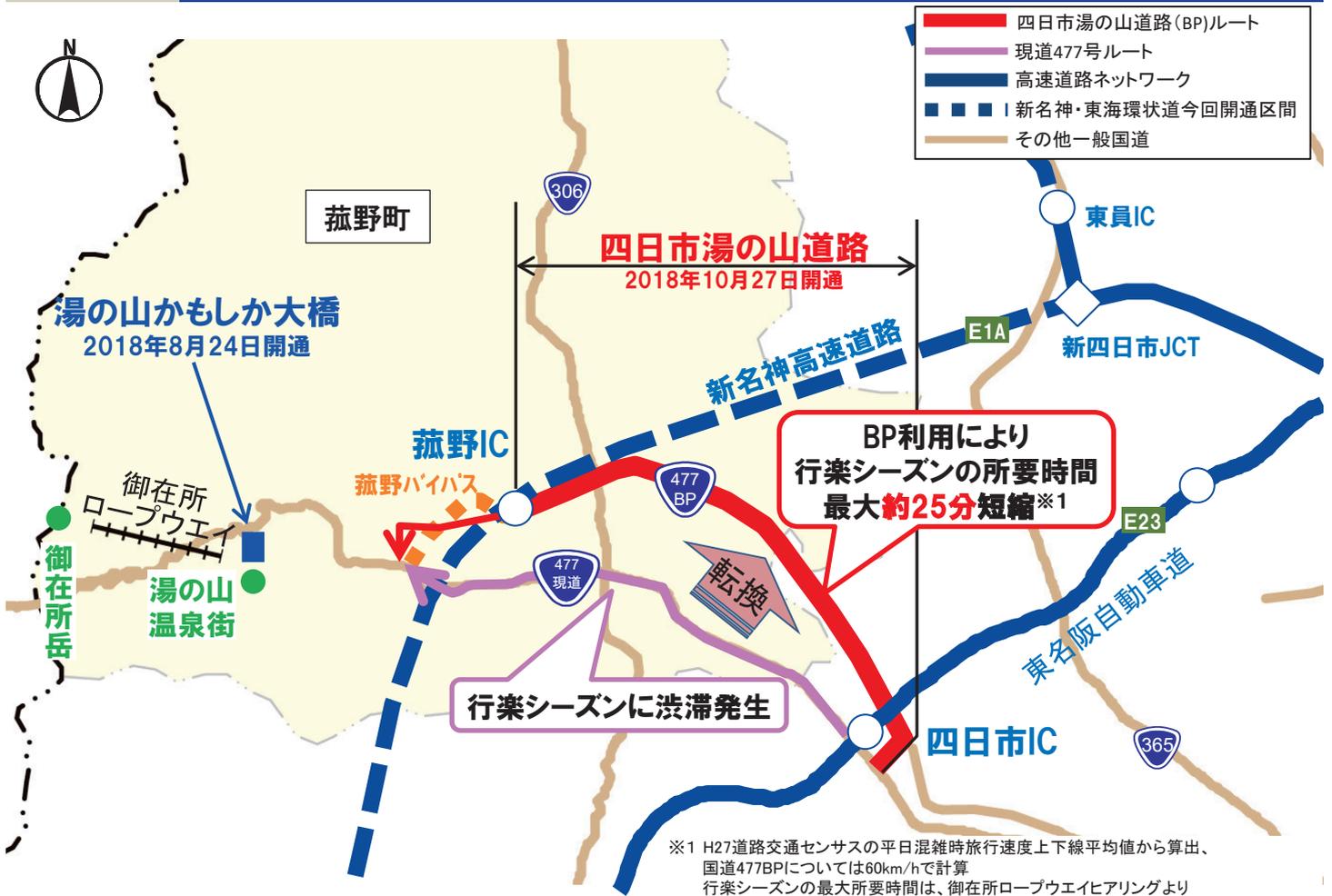
東名阪道で発生する渋滞のため、来訪時の所要時間が読めない、帰宅時に時間を要するという声を聞いています。

新名神開通による渋滞解消に大いに期待しています。(鈴鹿サーキット)

行楽シーズンにも安全で円滑な移動を支える！

日本有数の規模を誇る御在所ロープウェイに向かう
渋滞緩和への期待

四日市
湯の山道路
効果



御在所岳

写真提供: 三重県観光連盟



湯の山かもしか大橋

写真提供: 三重県

御在所ロープウェイの 声

新名神や四日市湯の山道路、湯の山かもしか大橋の開通で集客増になることを見越し、ゴンドラのリニューアルや山頂レストランの新設を実施し、山麓にはアウトドアショップもオープンしました。

紅葉時期の渋滞が懸念されますが、四日市湯の山道路や新名神の開通により、交通が分散し、渋滞が緩和することを期待しています。



御在所岳山頂レストラン

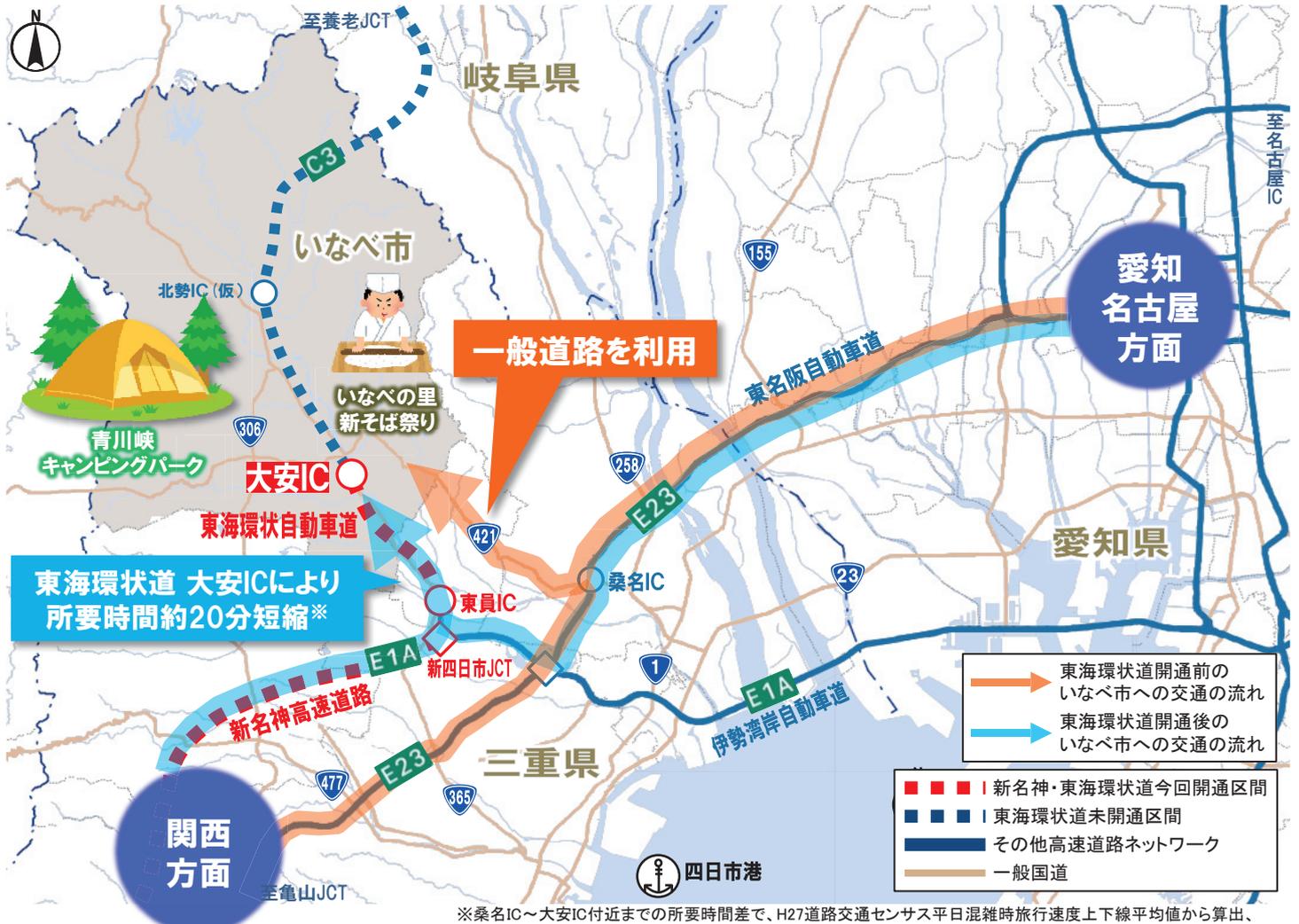
写真提供: 御在所ロープウェイ

観光振興

「いなべの観光」がもっと近くに、便利になる！

アクセス性と速達性の向上による来訪者数の更なる増加への期待

東海環状自動車道効果



いなべ市の観光施設（青川峡キャンプパーク）



写真提供：(一財)ほくせいふれあい財団

来訪者の推移



いなべ市の地域振興イベント（いなべの里 新そば祭り）



資料提供：いなべ市

来訪者の推移



キャンプ場施設管理者の 声

東員ICの開通後、東員ICを利用する来訪者が増えました。今回の大安IC開通により、来訪者が更に増えると期待して、設備の拡張を実施しています。

新そば祭り主催者(いなべ市)の 声

東海環状道開通により、いなべ市に短時間で来られるようになれば、余暇活動として蕎麦打ちに訪れる方が更に増えると期待しています。

メンテナンス時の渋滞抑制を支える！

大規模更新・修繕時の交通影響緩和への期待

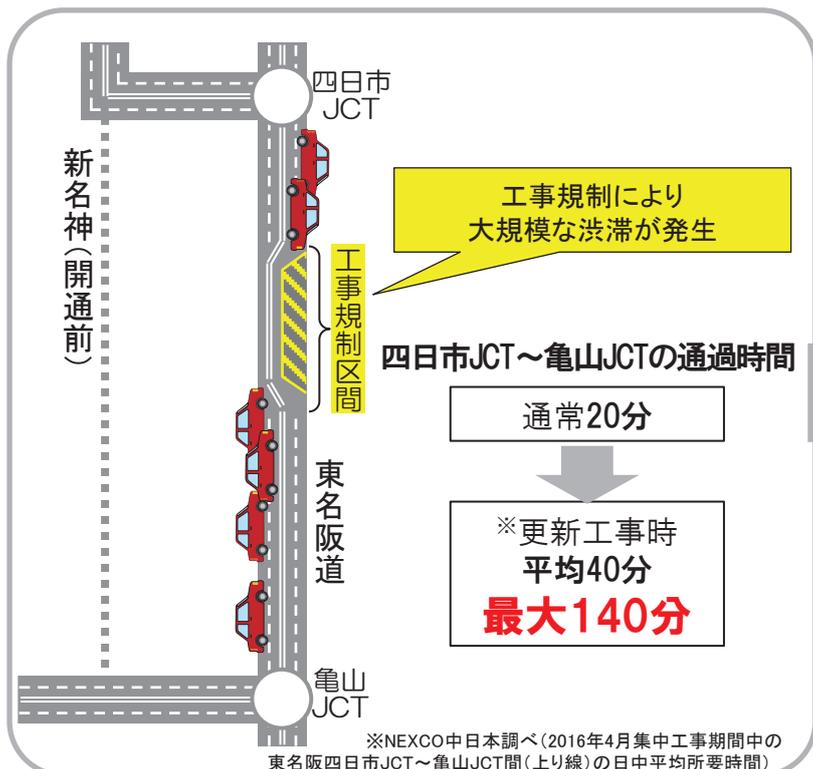
新名神
高速道路
効果

高速道路における大規模更新工事

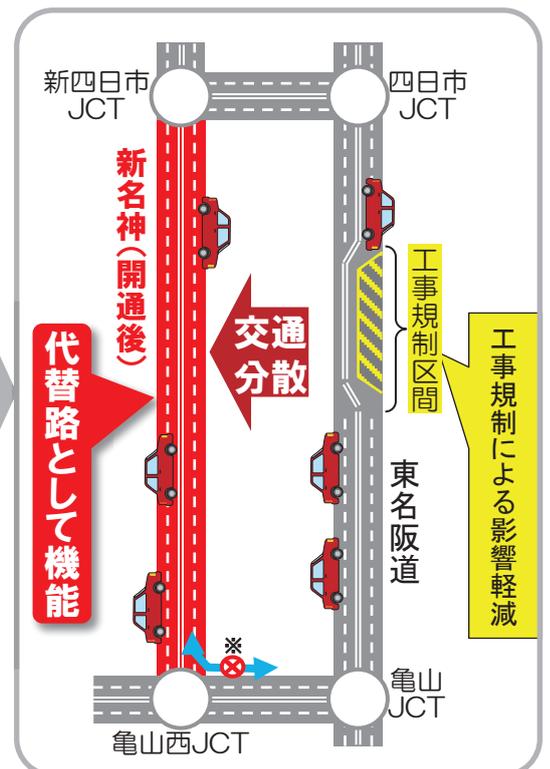


写真提供：NEXCO中日本

新名神開通前



新名神開通後



※亀山西JCTで今回開通する区間と伊勢方面をつなぐランプウェイは、2019年度の完成を目指し、鋭意事業を進めています。

新名神高速道路・東海環状自動車道への思い



三重県知事
鈴木 英敬

三重県は、日本経済をリードするものづくり中部の一翼を担い、自動車産業をはじめ強靱で多様な産業が立地しています。新名神は、中部圏と近畿圏を結ぶ新たな日本の大動脈として大きな役割を果たし、その中間に位置する三重県の立地ポテンシャルを飛躍的に向上させます。さらに広がる東海環状と一体となって、産業のみならず、伊勢神宮、伊賀流忍者などの地域資源を生かした観光文化交流の更なる発展に期待しています。



四日市市長
森 智広

四日市市は、石油化学・半導体など多様な企業が集積しており、三重県内における製造品出荷額が第1位となっています。また、本市には、四日市港があり、平成29年の外貨コンテナ取扱個数が、過去最高を更新し、近年、コンテナの夜景や大型クルーズ船の来港など、観光拠点としても活用されています。新名神や東海環状が開通することで、東名阪の渋滞の緩和は勿論の事、関西北陸方面からのアクセス時間が短縮され、さらなる利便性が向上することを期待しています。



鈴鹿市長
末松 則子

鈴鹿市は、恵まれた自然環境の中にあり、自動車産業など数多くの企業を有し、伊勢湾岸地域有数の内陸工業都市として発展してきました。新名神の三重県区間が開通し、市内の新たなスマートICの利用がはじまると、近畿圏と中部圏のつながりがさらに強くなります。また、東海環状自動車道と連携することで、より広域的な高速道路ネットワークが確立され、人の交流や物流が今まで以上に活発になることを期待しています。



亀山市長
櫻井 義之

亀山市は、古くより交通の要衝として栄え、この高い交通拠点性を基盤に多様なものづくり産業が立地する内陸工業都市として発展してきました。新名神高速道路三重県区間が開通し、亀山西ジャンクションが完成することで、東名阪自動車道の渋滞解消に寄与し、更なる交通拠点性の強化による産業立地、雇用促進、観光交流などの発展に期待しています。また、リニア中央新幹線の実現による鉄道・道路の総合的な交通ネットワークの形成により、更なる地域ポテンシャルの向上についても期待しています。



いなべ市長
日沖 靖

滋賀県と岐阜県に接し三重県の北部に位置するいなべ市は、四季折々の風景をみせる鈴鹿山脈と田園風景の広がるまちです。2019年にはこれからのまちづくりの拠点となる新庁舎が開庁し、新たなにぎわいの創出につとめていくなかで、インターチェンジが開通することは大きな影響をもたらしてくれることでしょう。東海環状自動車道の開通は、本市に立地する自動車産業を始めとした産業界のみならず、観光や農業分野にとっても地域活性化の原動力となることを期待します。



東員町長
水谷 俊郎

東員町は、三重県北部に位置し稲作を中心とした田園風景が広がる町で、誰もが健康で生活できる「健康活躍のまち」、新しい農産物に挑戦し特産品を作る「稼げるまち」を目指しています。平成30年度、新名神高速道路が開通することで交通の利便性がさらに向上し、新たな人の流入による地域の活性化や地元企業の活性化に大きな期待をしています。また、東海環状自動車道の全線開通時にも同様の期待をいたします。



菟野町長
石原 正敬

菟野町は、鈴鹿山脈の麓の自然豊かな環境に位置し、都市部へのアクセスにも恵まれており、自然環境と利便性が調和した暮らしやすい町です。新名神高速道路の三重県区間の全線開通、東海環状自動車道「大安IC」から「東員IC」間の開通により、道路ネットワーク機能が更に向上し、三重県北勢地域の活性化を促すと確信しています。当町といたしましてもIC周辺への企業誘致、観光振興等、ストック効果を十分に發揮し地域の活性化を目指して参ります。

新名神・東環開通 効果検討会議

国土交通省中部地方整備局
中日本高速道路㈱名古屋支社

三 重 県
四 日 市 市
鈴 鹿 市 市
亀 山 市 市
い な べ 市 市
東 員 町 町
菟 野 町 町

新名神・東環開通効果検討会議 [2019年1月31日設立]では、国、高速道路会社、県、沿線市町が一体となって、新名神高速道路(新四日市JCT～亀山西JCT)及び東海環状自動車道(大安IC～東員IC)の開通効果について検討を行っています。今後、調査検討した内容は、ホームページや記者発表を通じて情報発信を行ってまいります。